

栃木県立国分寺養護学校 交流教育部 「学校支援ボランティア養成講座」

【活動の概要】 栃木県立国分寺養護学校では、特別な支援の必要な児童生徒の学習活動や地域生活を効果的に支援するため、「学校支援ボランティア養成講座」を実施している。この中で受講者には障害や養護学校教育、支援方法等について理解を深めてもらい、学校と地域が協力連携した、よりよい教育を推進している。

【始めるきっかけ】 「児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行う」ことは特別支援教育の理念である。一方、国分寺養護学校では、今後3～5年の中長期ビジョンが検討され、障害のある児童生徒と一般の人との交流によるノーマライゼーションの実現を願う教職員の想いが示された。こうして平成16年度には、それまで学習指導部の交流教育係であった校務分掌を発展し、交流教育部を新たに組織。学校支援ボランティア養成講座を計画、実施することになった。

【活動の内容】 国分寺養護学校の交流教育部は、近隣の小・中・高等学校との交流を受け持つ「学校間交流係」、学校周辺地域の教育力（専門的な力：ジャズダンス、田植え・稲刈り交流、パッチワークなど）の導入を進める「ふれあい学習係」、児童生徒

	日 時	プログラム・講座内容
第1回	10月2日(土) 9:30~12:00	○開講式 ○講話①『ボランティアについて』 下都賀教育事務所職員 ②『本校の概要について』 本校教頭
第2回	10月23日(土) 9:00~15:00	○実習『こくよう祭に参加しよう』 ・高等部模擬店、即売の補助、こくよう祭見学
第3回	11月3日(水) 9:30~12:00	○講話『障害の具体例と対応』 本校職員 ○実習『PTA活動に参加しよう』 ・第3回親子クラブ レクリエーション参加 *レクリエーション補助、児童生徒の援助
第4回	12月4日(土) 10:00~12:00	○実習『PTA活動に参加しよう』 ・第4回親子クラブ クリスマスコンサート参加 *コンサート補助、児童生徒の援助 ○ボランティア登録について
第5回	1月15日(土) 9:30~12:00	○『交流会～学校支援ボランティアのシステムづくり～』 ○閉講式

＜平成16年度学校支援ボランティア養成講座プログラム＞

が、生活している地域の小学校との交流を進める「居住地交流係」、地域を限定せず、広く一般の方々に国分寺養護学校の教育や児童生徒についての理解を深めてもらい、将来にわたり学校支援等を行うボランティアを養成する「ボランティア係」の4つの係から構成されている。

平成16年度の学校支援ボランティア養成講座は右表のようなプログラムで実施された。平成16年度は30名の募集定員に対して、13名（主婦4名、高校生9名（女7名、男2名））の応募があった。プログラムからも分かる通り、国分寺養護学校での実際の行事に参加する実習がふんだんに盛り込まれている。実際に参加した受講者からは、「専門の先生方の話を聞いて、色々な面でのボランティアを考えていく良い機会と

なった。」「先生方の子ども達への愛情が伝わってきた。」などといった感想が寄せられた。

平成17年度には、前年度の受講修了者交流会を開催するなど学校とボランティア相互の結びつきを強めて協働できる体制づくりを構築している。

【成果と課題】

平成16年度の受講修了者13名のうち4名がボランティア登録をし、また平成17年度の受講生は、前年度の受講者の口コミなどの効果もあり37名と3倍近くに増加している。

今後の課題としては、将来的に活動しやすい仲間づくり、障害や養護学校についていかに理解してもらうか、学校主体からボランティア主体への活動ができるためのシステムづくり、学校・ボランティア・関係機関などとの相互のネットワークづくり、受講修了者へのフォローアップなどが挙げられるが、着実な一歩を踏み出したといえるだろう。

★ ここが特徴！

- ☆ 特別支援教育に対する、教職員の想いや願いを積極的に校務分掌に反映している。
- ☆ 児童生徒の居住地や学校を中心とするエリア内の交流を核とし、その輪を徐々に拡大している。
- ☆ 障害のある児童生徒と一般の人との交流を通して、将来的に助け合っていくことを目指している。
- ☆ 学校を知ってもらい、ネットワークをつくり、人を育てている。
- ☆ 学校支援ボランティア養成講座修了者を対象に交流会を開催している。